

# なぜなに やまもり

## 山や森についてもっと知ろう!

### 里山ってどんなところ?

私たちが住む住宅地などの近くにある森林のことです。昔は、お風呂やご飯の煮炊きに使った薪や、肥料にする落ち葉、キノコや山菜などを採るために、人が山に入っていました。生活の仕方が変わり、人が山に入らなくなったり、病気がまん延するなどして里山は荒れはじめ、クマなどの動物が住宅地に下りてくるなどいろいろな問題が増えてきています。

**里山は私たちにとっても大切な場所。だから、生き返らせる必要があるのです!**



本来の姿を取り戻した里山は、空気をきれいにしたり、土砂崩れなどの災害から私たちの生活を守ってくれたりします。また、さまざまな動植物を育み、自然環境学習や憩いの場を私たちに提供してくれます。

**私たちの身近にある森林に、あらためて目を向けてみませんか。**

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して里山の再生に取り組んでいます。

# もりしあ人

— 森があるしあわせを伝えたい —

## ちゅうばち ほるか 忠鉢 春香さん



庄内町出身。温海町森林組合(鶴岡市)職員。短大卒業後、栄養士として病院に勤務。結婚して、自動車部品工場に転職したあと、2009年8月に温海町森林組合に就職。9歳と3歳のやんちゃ盛りの男の子を育てる2児の母。

### 林業女子です

#### — 森林組合に就職されたきっかけは? —

結婚を機に鶴岡市(旧温海町)に住むようになり、新しい仕事を探していたときに森林組合の求人を見つけました。山の近くで育ったせいもあって山が大好きだったので「この仕事をしてみたい」と思ったのがきっかけでした。

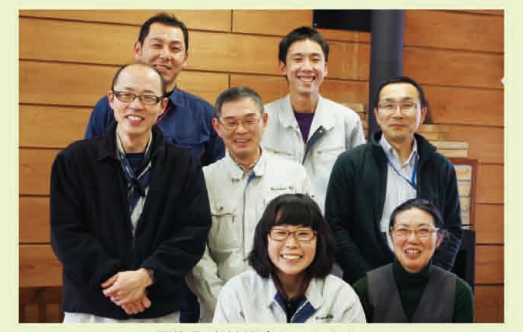
#### — お仕事の内容は? —

所有者さんが山を管理するために立てる計画の書類作成を担当しています。ほかには、小学校の授業で、きのこの植菌体験や、テーブルやイスを地元の木で作る木工体験など実際の体験を通して森林環境学習のお手伝いをしています。このとき、所有者さんから間伐の必要性などを直接話してもらい、山を維持することの大切さを直接教えていただいています。子どもたちはお父さんやお母さんに「今日はこんなことを習ったよ」と

### 山は発見がいっぱい

#### — お子さんと山に行かれたりしますか? —

時間を見つけていくようにしています。実家の近くの山でクルミや栗を拾ったり、タラノメやワラビを採ったり。子どもの目線は大人と違うので、これまで私達が気付かなかった発見がたくさんあって驚かされます。家の中にいるより会話が弾んで、私が子どもたちから元気をもらっています。



温海町森林組合のみなさん

### 山が蘇ったときの壮観な景色を見てほしい

#### — 林業の魅力って何でしょう? —

林業は農業と違って収穫まで時間がかかり、すぐに結果が出ません。でも、荒れた山も手入れをすれば蘇るんです。そのときの姿はとても美しく壮観なものです。山は木を収穫するためだけにあってはならず、特にここ温海地域では、暮らして寄り添うかけがえのない存在だということを実感できることが魅力ですね。

#### — 山が蘇る? —

県内どこもそうですが、今、若い林が少なくなっています。年齢を重ねた林は二酸化炭素の吸収力や土をおさえる根この力が衰えてきます。だから、ちゃんと手入れをして年齢を重ねた木

#### — 今後の抱負を教えてください —

山を強くするには、山をしっかり経営しなければなりません。そのためには、所有者さんの意識や取組みが活発にならないとだめなんです。手入れの方法や楽しみ方と一緒に、木を伐つて植えて、手をかけて育てて、また伐る。という、うまく循環させる経営方法を多くの所有者さんに伝えて、「一緒に山を蘇らせていきたいです。それをお手伝いするのが私たち森林組合です。気軽に相談してもらいたいですね。」

